

会議名	第2回港区みんなとオレンジカフェ事業業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和5年12月12日（火曜日）午前9時から午前9時30分まで
開催場所	港区役所保健福祉支援部会議室
委員	保健福祉支援部長 山本 睦美（委員長） 高年齢者支援課長 白石 直也（副委員長） 麻布地区総合支所区民課長 川口 薫（委員） 介護保険課長 安達 佳子（委員） みなと保健所健康推進課長 二宮 博文（委員） リモートにて参加
事務局	高年齢者支援課高年齢者相談支援係
会議次第	1 開会 2 第1回選考委員会議事録（案）について 3 第一次審査選考結果（案）について 4 第二次審査スケジュール等（案）について 5 第二次審査採点基準表について 6 閉会
配付資料	[席上配付] 次第 資料1 第1回選考委員会議事録（案） 資料2 第一次審査評価集計表 資料3 第二次審査日程表（案） 資料4 第二次審査留意事項（案） 資料5 第二次審査採点表  参考資料 選考スケジュール及び審査方法等について
会議の内容	
事務局	1 開会 （委員長より開会の挨拶）  2 第1回港区みんなとオレンジカフェ事業業務委託事業候補者選考委員会議事録（案）について 3 第一次審査選考結果（案）について （事務局より第一次審査集計結果について説明）
委員長	事務局採点について、意見や質問はありますか。

A委員	本事業の今年度の契約金額はいくらでしょうか。
事務局	令和5年度の契約金額は税込767万7,615円です。
委員長	他にはよろしいでしょうか。 (委員一同、異議なし)
委員長	それでは第一次審査について審議します。各委員から講評をお願いします。
B委員	<p>評価点は、各種専門職が適切に配置されていることや、5つの地区ごとに5から6名程度のチームを組み、継続的な傾聴体制を実現、不測の事態には代替従事者を手配可能である部分です。また、内部研修と外部研修及び情報共有についての記載があることや、アンケート調査を大学生と共に実施すること、認知症本人が語る場を創出していくというキーワードがあったことを評価しました。</p> <p>一方で、職員体制の実現可能性について不明瞭であるため確認が必要です。全体の体制図があると望ましいです。加えて、認知症本人の語る場の創出についても、実現性について、提出資料からは十分に読み取れませんでした。</p> <p>他には業務効率化について、提案内容が業務効率化に繋がるのか、一部疑問が残りました。</p>
A委員	<p>全ての項目について、そつなくできていると見受けられますが、新たな提案について、事業者独自の創意工夫が少ないと感じたため、平均的な点数としています。</p> <p>詳しく聞きたい内容がいくつかあったので、第2次審査のプレゼンテーションでいくつか質問したいと考えています。</p> <p>中長期的なビジョンとしてオレンジカフェのサテライト版を3から5年後に段階的に立ち上げていくという提案は評価できます。その実現可能性も含め、少し高く評価しています。</p>
C委員	<p>従事予定者の業務実績から、安定的に事業の運営ができるということが見えました。</p> <p>ただ、専門職や傾聴という言葉が何度も出てきますが、そのスキルは職種や人によって変わってくるため、プレゼンテーションの際に聞きたいと思っています。</p> <p>区民サービス向上に関して、事業・サービスに関する情報の周知に</p>

	<p>ついて重点的に記載されていますが、認知症を地域ぐるみで理解するという取り組みが少し欠けているため2点と評価しました。</p> <p>また、審査項目ではありませんが、業務の特性や業務範囲が5地区であることから、他事業所が参入しにくい事業となってしまうように感じます。プロポーザルで事業所を選定するのであれば、新たな事業所が参入できるようにする検討も必要であると考えます。</p>
D委員	<p>人件費について、全国的に人材確保が難しくなっている中、専門職を雇用するには安い気もします。安定してよい人材を確保するための方策について、プレゼンテーションの際に確認したいです。</p>
E委員	<p>相談対応の充実では、傾聴のマインドで無理に話を引き出すことなく対応し適切な医療・サービスにつなげるという点、認知症本人の視点を取り入れた事業展開の工夫では、社会での孤立感を減らすような事業展開、本人同士が話せる場に先輩認知症本人や回想法、本人が活躍できる機会を工夫するなど、当事者に自然に寄り添った取り組みを進めていこうという点がとても良いと思いました。</p> <p>一方どの時期にどういうふうに取り組むかというようなスケジュールの具体性が見えないため、プレゼンテーションの際に確認したいと思います。</p>
委員長	<p>それではここから各委員の講評を踏まえて、審査にあたっての意見交換をしたいと思います。何かありますでしょうか</p>
D委員	<p>今回の応募事業者は1者のみですが、他の事業者から問い合わせはあったのでしょうか。</p>
事務局	<p>事業の見学や問い合わせはありませんでした。</p>
E委員	<p>当事者同士の会は、今後どのように展開していく想定でしょうか。</p>
事務局	<p>現在、本事業に当事者が数名参加されているため、当事者からヒアリングをして内容を検討し、当事者が参加しやすく当事者の視点に立った会になるよう計画したいと考えております。</p> <p>また、認知症ご本人と介護するご家族、専門家の先生とのシンポジウムも企画しています。</p>
委員長	<p>他にはよろしいでしょうか。</p>

	(委員一同、異議なし)
委員長	<p>それでは、ご自身の採点について修正を希望される方はいらっしゃいますか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、採点結果は967点で決定させていただきます。</p> <p>選考基準では第一次審査及び第二次審査のそれぞれの満点の6割を基準点とすることを定めております。一次審査結果はこの基準を満たしているため、A事業者を一次審査通過事業者としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	それではA事業者を二次審査へ進めるものといたします。
事務局	<p>4 第二次審査スケジュールについて</p> <p>5 第二次審査採点基準表について</p> <p>(事務局より資料3資料4、参考資料について説明)</p>
委員長	事務局の説明は終わりました。資料4、資料5を合わせてご意見をお願いしたいと思います。
A委員	概要版が提出された場合、委員にはいつ配布されますか。
事務局	第二次審査当日に配布します。
A委員	第二次審査で委員から事業者に質問する際、事務局から聞いてほしい内容はありますか。
事務局	先ほど各委員からの講評を伺い、事務局が聞きたい内容は網羅されていたため、質問の内容は各委員にお任せします。
B委員	各委員からの質問は2～3問でよろしいですか。
事務局	質疑応答は全体で20分ですので、各委員4分程度になります。委員からの質問と事業者からの回答を全て含めてお一人4分程度でお願いします。

B委員	本日配付されている資料4は事業者に送付するものですか。
事務局	第一次審査の結果に同封して事業者に送付します。
委員長	その他、第二次審査についてご意見はありますか。 (委員一同、異議なし)
	6 閉会 (事務連絡、委員長より閉会の挨拶)